

PUR製本機導入による新しい付加価値の印刷物を提供する事業

山陰初のPUR製本 提案から製本までの一貫生産による 高い品質とコスト削減を実現



出版物や看板、ウェブ制作など
幅広い業務

【社訓】

世のため人のためお役に立とう みんなに喜んでいただける仕事をしよう
誠実で明るく楽しく元気に仕事に従事しよう そして豊かな生活を創造し得る会社を創造しよう

有限会社高浜印刷は1947年に謄写印刷から事業をスタートした。時代に合わせた印刷方法を取り入れ、設備を増やしながら97年に現在の所在地に社屋を移転し、社名も今の形に。パンフレットや本などのさまざまな出版物や、屋内外の看板の企画・制作、ホームページやマルチメディアコンテンツの制作など、幅広い業務を手がけている。

ものづくり補助事業では、PUR製本をするための無線綴機と、その準備の工程で、ページを整えるために必要な丁合機を導入した。

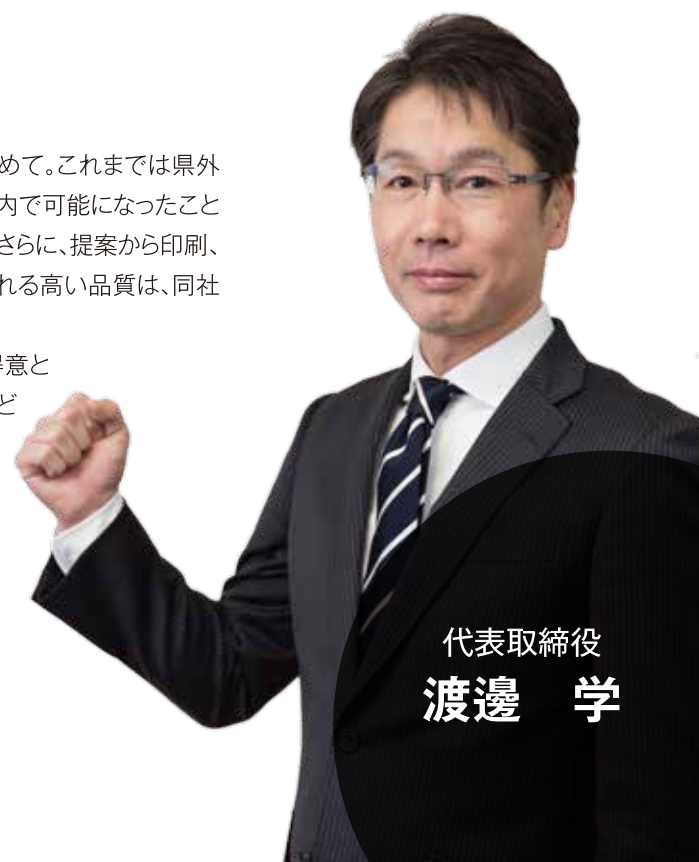
PUR製本とは、PUR(反応性ポリウレタン接着剤)を使う製本方法のことで、現在の主流であるEVA系ホットメルト接着剤に比べ、強度と柔軟性に優れている。厚みのある本も軽い力で平らに開くことができ、ページが戻ることもないため、見開きを使った写真や図版もきれいに表現できる。熱や寒さにも強く、本が丈夫で長持ちに。製本時に糊の無駄が出にくく、リサイクルの際は紙と分離しやすいため、再生しやすい環境に優しい。



遺跡調査の報告書や
学校教材の印刷に最適

PUR製本ができるのは、山陰では同社が初めて。これまでは県外の業者に依頼するしかなかったPUR製本が社内でも可能になったことで、納期も短くなり、コストも削減できるように。さらに、提案から印刷、製本まで行える会社は珍しく、一貫性から生まれる高い品質は、同社の大きな強みになった。

もともと同社は、ページ数の多い出版物を得意としており、PUR製本の利点を生かせる書籍などの提案を行っている。県内で多く企画される遺跡調査の報告書や、学校教育で使う教材は、写真や図版が豊富でページ数も多いため、PUR製本に最適。観光分野にも注目しており、ガイドブックにAR(拡張現実)サービスも加えれば、ページにスマートフォンをかざすと



代表取締役
渡邊 学

新規顧客層への展開、独自性・独創性の
発揮

無線綴機BQ-470、丁合機VAC-1000



1



2

1 今回導入した無線綴機
2 印刷後、用紙をページ順にする丁合機

多言語での説明が聞けるなど、使いやすく付加価値の高い商品になる。他にも写真集や手帳などにも、PUR製本を広げる予定だ。



ARサービスなど付加価値提供
他社との差別化を

近年は、パソコンやプリンターなどの普及で印刷が身近になった。だからこそ、プロとしての付加価値を提供し、他社との差別化を図ることを大きな課題ととらえている。従来のように紙へ印刷するだけでなく、電子書籍やクロスメディアなど様々な手法を検討し、顧客それぞれにぴったりの方法を提案することを心がけている。

ARサービスは、新しい試みの一つとして、イベントなどですでに活用している。2017年秋に松江市内の施設で行った「ARスタンプラリー」では、庭園内に木などのイラストを設置。参加者がアプリをインストールしたスマートフォンをかざすと、昆虫の映像が写る仕組みで、親子連れなど250人以上が楽しんだ。

社員の働き方改革も重視しており、女性の活躍を積極的に支援するためキッズルームを開設し、復職プログラムも制定した。

環境対策では、印刷業界が設定した指針を踏まえて、廃棄基準をマニュアル化したり、薬品などを使用しないシステムを採用したりと、環境負荷を減らす取り組みを続けている。

(有) 高浜印刷



松江市東長江町にある本社

代表者名：渡邊 学
設立年月日：昭和22年7月
資本金：13,000千円
従業員数：17名
業種：印刷・同関連業
売上：195百万円
住所：〒690-0133
島根県松江市東長江町902番地57
電話：0852-36-9100
FAX：0852-36-5775
URL：<http://takahama.jp/>
メール：info@takahama.jp